

令和元年度第 2 回地域助け合い創出研究会 アンケート集計結果

○開催日：令和元年 10 月 7 日(月) 13:30～16:00

○内 容：講演

-地域で暮らす高齢者を住民が支える取り組みについて

発表者：北上市保健福祉部長寿介護課

主任社会福祉主事 岩田 渚沙氏

グループでの意見交換

○参加者：75 人

| | | | |
|------|-----------------|------|---------|
| (内訳) | 地域助け合い協議会委員 | 13 人 | (17.3%) |
| | 民生委員 | 23 人 | (30.7%) |
| | 地域の代表者(地域公民館長等) | 6 人 | (8.0%) |
| | 介護事業所 | 4 人 | (5.3%) |
| | NPO等法人職員 | 12 人 | (16.0%) |
| | その他 | 17 人 | (22.7%) |

○回答者：46 人 (回収率 61.3%)

| | | | |
|----------|-----------------|------|---------|
| ① 年代 | 20代 | 2 人 | (4.3%) |
| | 30代 | 3 人 | (6.5%) |
| | 40代 | 4 人 | (8.7%) |
| | 50代 | 5 人 | (10.9%) |
| | 60代 | 17 人 | (37.0%) |
| | 70代以上 | 15 人 | (32.6%) |
| ② 性別 | 男性 | 21 人 | (45.7%) |
| | 女性 | 25 人 | (54.3%) |
| ③ 回答者の内訳 | 地域助け合い協議会委員 | 13 人 | (28.3%) |
| | 民生委員 | 13 人 | (28.3%) |
| | 地域の代表者(地域公民館長等) | 4 人 | (8.7%) |
| | 介護事業所関係 | 4 人 | (8.7%) |
| | その他の公的機関 | 3 人 | (6.5%) |
| | 一般市民 | 1 人 | (2.2%) |
| | その他 | 8 人 | (17.3%) |

| | | |
|-----------|-----------|-------------|
| ④ 参考になったか | 大変参考になった | 14人 (30.5%) |
| | 参考になった | 28人 (60.9%) |
| | 参考にならなかった | 2人 (4.3%) |
| | 未記入 | 2人 (4.3%) |

| | | |
|-----------------------|-----|-------------|
| ⑤ 今後の地域での活動に取り入れられること | ある | 27人 (58.7%) |
| | ない | 8人 (17.4%) |
| | 未記入 | 11人 (23.9%) |

* 「ある」場合、取り入れたいと思ったこと

- ・ B型日常生活支援の取り組み → 地域おたすけサポーター養成講座を受講でき、各地域で活動出来るようになれば、担い手の増加につながるように思うので、考慮していただきたい。
- ・ ご近所おたすけサポーター養成講座 …7名
- ・ ご近所おたすけサポート隊が地域にいるといいのではと感じた。
- ・ ご近所おたすけサポーターの養成等については、今後、資格制度の導入は必要であると思う。
- ・ 支え合い訪問、通所介護サービスを検討したい
- ・ 「これから育てていくしくみ」の項
- ・ 訪問型サービスの事業内容、ごみ出し等の扱い
- ・ 体操
- ・ 訪問型サービス（ごみ出し）の場合は、100円でもいいのではと思う。地域でも取り入れることも考えられる。
- ・ 利用者のニーズと担い手のニーズの両方の視点でしくみを改善
- ・ 通所サービスB
- ・ 助成金制度の理解と周知
- ・ 地域で求められるニーズがバラバラなので、ニーズを把握しながら繋いでいただければいい。
- ・ 利用者さんの生活を支えるために、ケアマネさんや地域の方、民生委員さんと協力していきたい。
- ・ 利用者、提供者に負担がなく活動するには、有償ボランティアの活動を取り入れたい。
- ・ それぞれの地域によって取り組みは変わると思うが、訪問・通所サービスを大船渡でも出来れば良いと思った。
- ・ 利用者・相談者の生活ニーズの聞き取りなど
- ・ 包括ケアシステムに繋がる地域づくりと連携

⑥ 興味がわいたこと、学びとなったこと

- ・ 基本チェックリストでも使える事が良かった。

- ・ 訪問型サービスBの実施の試み
- ・ 支え合い訪問、通所介護サービス
- ・ 企業、各種団体等のサポーターを送りこんでいる。
- ・ 基本チェックリストの活用
- ・ ごみ収集の方法
- ・ いきいき百歳体操を一度体験したいと思った。
- ・ いきいき百歳体操
- ・ 支える人と支えられる人の壁をなくす
- ・ 個人の悩みを受けてはいるが、つなげる方法を勉強出来ればと思う
- ・ 通所サービスで参加者に制限がないこと
- ・ ご近所おたすけサポーター養成講座をどのように開いているのか。市内にあるのかないのか
- ・ ご近所おたすけサポーター
- ・ 地域の中の取り組み、動き、見守り活動を施設の方へも地域の活動を伝えていただきたい。

〃 を知りたい。

〃 につなげたい。

- ・ 総合事業について学べてよかった。
- ・ 地域の人達がとても積極的に自分の地域の高齢者の人を気にかけていることに驚きました。
- ・ 参考にしたい事業でした。大船渡でもあればいいと思った。
- ・ 本人負担+補助金という形
- ・ 地域によって支援の仕方に違いがあることがわかりました。
- ・ お金がない人、店が側にない町など本当に必要な人は利用しにくいシステムに感じた。大船渡は必要な人にやさしい内容を考えてほしい。
- ・ 大船渡市の助け合い協議会の活動状況等
- ・ 参加者から様々な質問が出たが、質問者の質問内容からこの活動に対する市民の考え方がわかった。

| | | | |
|---------|-------|-----|---------|
| ⑦ 次回の参加 | する | 32人 | (69.5%) |
| | しない | 4人 | (8.7%) |
| | わからない | 1人 | (2.2%) |
| | 未記入 | 9人 | (19.6%) |

⑧ 意見・要望

- ・ ありがとうございます。
- ・ 生活支援コーディネーターの情報交換の場があればいいと思います。各地区の進行の程度等も聞いてみたいです。
- ・ 大船渡は地域助け合いを地域で実施しているが、北上は市ですすすめていることから、今回の研修

会がどこにあったのかももう一つわからなかった。

- ・ ご近所おたすけサポーター養成講座は、ネーミングもいいので取り組みとしてはいいと思いました。（一般の方も理解できる。）
- ・ 実施している生活支援サービス事業の具体例、問題点など
- ・ 現実的に自分がどう動いていったらいいのかまだよくわからない。
- ・ もっともっと「地域包括ケア」というものを、どういう形にしたいのかを周知してほしい。
- ・ 支えられる人、支える人の壁を取り除く良い方法を知りたかった。それが根源となりうると考えたから。
- ・ 支援活動の周知は不足しているのでは。
- ・ 施設外での地域の取り組みから、介護サービスにつなげられる方もいるのかな？と思いました。今後も地域の中に入っていきたい。
- ・ 大変参考になりました。ありがとうございました。